

困難を乗り越え、 新たな時代に繋ぐ予算



令和3年度は、平成23年度に策定した現基本構想（10年ビジョン）の計画期間の最終年次であり、同時に令和4年度を始期とする新基本構想につなげていく重要な年です。

現在のコロナ対策を含め、この10年、保育の待機児童問題など幾多の困難を区民の皆さんと共に乗り越えてきましたが、この間の取り組みの到達点や課題、さらには区民の描く夢や希望を新たな基本構想につないでいくという意味から、令和3年度予算を「困難を乗り越え、新たな時代に繋ぐ予算」としました。予算案は、現在開催中の第1回区議会定例会で審議されています。

—問い合わせは、財政課へ。

基本構想の目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち

■河川監視カメラのリアルタイム配信等の構築～迅速な水害対応へ

2300万円

河川監視カメラ映像配信のリアルタイム化および浸水危険地域への冠水センサーの設置

■発災後3日分の区内備蓄の確保と震災救援所の備蓄品の充実

1億2897万5000円

想定避難者数の食糧備蓄を5カ年計画でさらに1日分区内に確保、震災救援所における女性や災害時要配慮者の視点を踏まえた備蓄品の一層の充実



■停電時に備えた在宅人工呼吸器使用者への自家発電装置等設置支援

124万8000円

在宅人工呼吸器使用者に対する停電時に備えた自家発電装置等の設置支援

基本構想の目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

■中小事業者への新ビジネススタイル導入支援

4740万円

事業形態の転換などを支援するための新たな補助制度の創設

■まちなぎわいと感染防止を両立させた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連イベントの実施

2352万2000円

万全の感染症対策を講じた上での「SUGINAMIおもてなしプロジェクト」の実施、外国チームの事前キャンプを契機とした交流の推進

■荻窪駅をはじめとした地域の特長を活かした住民参画の駅周辺まちづくりの推進

1816万5000円

住民と一体となった荻窪の歴史的・文化的資源を生かした取り組みの実施、阿佐ヶ谷・西荻窪・富士見ヶ丘駅周辺まちづくりの推進

基本構想の目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち

■公園の整備と多世代が利用できる公園づくりの取組

22億5196万9000円

馬橋公園の防災機能向上に向けた設計および（仮称）松庵二丁目公園の整備、杉並第八小学校跡地を利用した公園整備や立体都市公園制度を活用した阿佐ヶ谷や公園の整備、安全・安心に公園利用ができるよう公園施設の長寿命化と計画的な改修

■荻外荘の復原・整備に向けて

3307万5000円

復原・整備に向けた実施設計と関連イベントによる機運醸成

■カーボン・ニュートラル実現に向けた取組の推進

4130万円

低炭素化推進機器の導入促進や次世代自動車普及に向けた充電設備導入支援、新たな環境基本計画策定に合わせた地球温暖化対策実行計画の策定

新たな時代を見据えて

●杉並の新たな時代を創る「新基本構想」と「新総合計画等」の策定

1722万8000円

基本構想審議会による住民説明会やオープンハウス形式の地域説明会の実施等

●区制施行90周年記念事業準備

1650万円

記念イベントの企画・具体化に向けた取り組み、記念式典の検討等



●行政のデジタル化等の戦略的な推進による区民の利便性の向上と業務の効率化

4390万4000円

ICT全般に高度な知見を有する「（仮称）デジタル戦略アドバイザー」の登用、区民サービスの向上に資する行政手続きのオンライン化やAI等の積極的活用等の推進、情報システム調達における情報化経費精査の強化・徹底、先端テクノロジーを活用した業務改革の実証実験の実施

今こそ、区政の未来の扉を開く

杉並区長 田中良

いよいよ新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種に向けた準備が佳境に入ってきました。世界各国ですでに実施が進み、日本においても医療従事者への接種が始まりましたが、本区においても滞りなく接種を開始できるよう、区内医療機関等としっかりタッグを組み、区の総力を挙げて取り組んでまいります。

しかし、新型コロナの収束までには、なお一定の時間を要することが見込まれます。区はこれまでコロナ対策に総額約692億円、国の補助金等を除いた区の単独経費として約45億円の予算を計上してまいりましたが、継続すべきことは確実に継続し、また、新たに取り組むべきことは迅速に実施できるよう、3年度予算案や今年度の補正第12号・第13号予算に必要な

経費をしっかりと盛り込みました。

また、令和3年度は現基本構想の締めくくりの年であり、同時に令和4年度を始期とする新基本構想とその具体的な道筋となる総合計画・実行計画を策定する重要な年になります。超高齢社会や首都直下地震への備え、そして来るべきデジタル社会への変革といった大きな課題に立ち向かって行かなくてはなりません。財政的にも厳しい状況が続くことが想定されますが、この未曾有の困難に立ち向かい、新たな時代へ夢をつなげ、区政の未来の扉を開いていくための予算としました。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。



コロナを克服するために

安定的な地域医療体制の維持・強化

- 杉並区受診・相談センターの運営……………1億1448万3000円
- 区内医療機関への発熱外来等運営及び検体採取体制支援……………1億7131万円
- 移動式バスによるPCR検査と区職員による検査判定の実施……………8368万3000円

区内地域経済の底上げと文化・芸術活動の支援

- 中小事業者への新ビジネススタイル導入支援（再掲）……………4740万円
- 感染拡大防止に取り組む商店街支援……………5000万円
- 商工相談窓口の拡充と金融機関に対する利子補給等の継続による中小企業支援……………1億5712万4000円
- 文化・芸術の「場」と「活動」の支援（すぎなみアート応援事業第2弾の実施）……………4392万円

その他新型コロナウイルス感染症対策の取組

- まちなぎわいと感染防止を両立させた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連イベントの実施（再掲）……………2352万2000円
- 介護者等の感染時における障害者・高齢者等への生活支援……………2347万7000円
- 福祉施設等従事者へのPCR検査の実施……………2862万円

これらに加え、区民のワクチン接種に要する経費や接種会場に係る経費などについて、現在開催中の第1回区議会定例会に補正予算（令和3年度第1号）案を追加提案し、審議されています。

